

## 第2学年 国語科学習指導案

1. 日時・場所 令和元年12月6日（金） 4校時
2. 単元名 読書をたのしもう 「お手紙」（全13時間 本時9時間目）
3. 単元目標

○場面の様子やがまくん、かえるくんの心情を想像しながら読み、物語を楽しむことができる。  
○がまくんとかえるくんが出てくる他の絵本や物語に興味をもち、読むことができる。

4. 「ひびき合う三の丸の子どもたち」にせまるために

研究課題「子どもが解決したい問題を持ち、友だちとひびき合いながら学習する子どもの育成」  
手だて・・・子どもの願いや思いを見とった単元構想と授業づくり  
低学年ブロックテーマ「感じる心、素直に表現する自分」  
・人の言動に何かを感じる姿  
・自分の思いや他者からの刺激を受け止め、素直に表現する姿

### (1) 児童の実態

#### <2年生の子どもたち>

反応のよい子がクラスの雰囲気をも明るくしている。係活動など、自分たちで声を掛け合ったり掲示物を作ったり、楽しんで活動している子が多い。困っている子がいると、「どうしたの?」「先生、〇〇さんが困っているみたいだよ。」など、友達を思いやるやさしい子が多い。長縄の練習でも、なかなか跳べなかった子が跳べるようになると、自然と拍手や歓声が沸いた。誰かが縄にひっかかっても、「大丈夫、大丈夫!」とお互いに声を掛け合い、気持ちを高めている姿も見られた。穏やかな子が多い反面、自分の主張を強く言いすぎてしまう子もいる。学習中の話し合いでも、話し合いに集中するあまり言い方がきつくなってしまったり、他者の意見を聞き入れることが難しかったりする子もいる。そういった子の勢いに押され、発言する子が限られてしまっているのが現状である。

読書タイムには、自分の読みたい本を用意し読書に親しんでいる様子が見られる。読書週間に、図書室で3冊まで本が借りられるようになると、「やったー!」と喜んで図書室に向かう姿をよく見かけた。さらに、「きつねのおきやくさま」を学習した際に本文中にあった「とっぴんぱらりのふう」という表現が載っている他の物語を家から持ってきてみんなに伝えるなど、**学習したことを読書に生かす姿**も見られている。

#### <聴く・話すについての指導>

「聴く」については、全体的に友達の話聴こうという意識が高い子が多いように感じる。クラスで決めた「2年 聴くルール」は、「あ：相手を見る い：いい姿勢で う：うなずきながら え：えがおで お：終わりまで」である。うなずきながらなど、反応を示しながら聴くことがだいぶできるようになってきた。しかし、**終わりまでしっかり聴き、相手の発言の意味を捉えているか、という点では、まだ指導が必要**と感じている。そのため、スピーチの際に質問だけでなく、感想を言うように指導しているところである。徐々に、「〇〇さんの夢が叶うといいですね。」や「〇〇さんなら、野球選手になれると思います。これからも、野球の練習を続けていってください。」など、スピーチの内容を意識した感想を伝え

られるようになってきているところである。

「話す」については、日直のスピーチや帰りの会で「今日のきりりさん」の発表など、定期的に人前で発表する場を設けている。ただ、人前に出ると緊張し、発表できずにいる子も数名いる。夏休み明けから、小さい声であるが話すことができはじめている子も増えた。その反面、自分の意見を伝えたいという意欲が高く、友達の発言を最後まで聴かずに話し始めてしまう子もいる。朝の時間を利用して、「アイスクリームとかき氷どっちが好き？」などの簡単な話し合いをした際には、自分の考えを明確にし、マグネットを使用して意見の表明をすることができてきた。そうした活動をくり返すことで、話し合いの楽しさを味わえる学習につなげていきたい。

#### <これまでの関わり合い・ひびき合い>

生活科で行った「1年生に学校案内をしよう」の学習では、学習を進めるに当たり昨年度の経験をもとに話し合う中で、『学校案内』という言葉よりも、『学校探検』という言葉を使った方が1年生にわくわくしてもらえそうだな。」や『学校探検』だと、自分たちが知らないところを案内するような感じがしてしまうなあ。」など、言葉にこだわりながら話し合いを進める姿があった。「1年生には、『学校探検』という言葉を使って、自分たちは、『学校案内』をするという気持ちでやっていったらどうかな？」という子どもの意見に「いいね！そうしよう！」と意見がまとまった。子どもどうしの話し合いで、方向性を決める力が徐々に育ってきている場面もあった。

国語科では、「スイミー」と「きつねのおきゃくさま」を学習してきている。「不思議に思ったこと」や「おどろいたこと」を中心に初発の感想を書き、どちらも初発の感想から学習問題を作ってきた。スイミーでは、「スイミーは、賢くて勇敢だ。」という感想をもとに、スイミーの置かれた状況を読み取り、物語のよさや作者のメッセージについて気付くことができた。

「きつねのおきゃくさま」では、「音読したらおもしろそう。」という感想から、音読発表会をすることを単元の目標とした。場面ごとに読み取りながら学習を進め、音読を重ねていく中で「このセリフはだれのセリフなのか？」という新たな問いが生まれてきた。話し合いの中で発言者の顔を見たり、首をかしげたり、うなずいたり、そういう自然な反応が出てくるとともに、「でもさ。」や「こういう時はどうなるの？」など一つの意見に対して自分の意見を重ねようとする姿も多く見られるようになってきている。話し合いが活発に行われることが多くなってきたので、物語の深い読み取りができつつある。

## (2) 単元と指導

### <単元について>

本単元は、学習指導要領第1学年及び第2学年「C 読むこと」の指導項目「ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。」「ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」「オ 文章の内容と自分の体験を結びつけて、感想をもつこと。」「カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。」にあたる。

本教材「お手紙」は、ちょっとわがままで自分勝手ながまくんと、そんな相手に一生懸命に優しい言葉をかけてあげられるかえるくんとの友情を綴ったお話である。

手紙を一度ももらったことのないがまくんが寂しさに心がくじけそうになるところ、がまくんをなんとか喜ばせようとしてかえるくんが内緒で手紙を出すところ、かえるくんが秘密を打ち明けてしまうところ、手紙の内容にがまくんが感動するところ、頼まれた手紙を運ぶかたつむりくんの懸命さなど、2年生にとって素直な心でお話の世界を想像し、楽しむことができる物語である。

この物語は、5つの場面で構成され、場面ごとに登場人物の行動や心情に変化が見られる。文章構成も簡潔で分かりやすく、ほとんどが登場人物の会話文によって物語が展開されている。その会話文は、登場人物の気持ちや人柄がよく表れていると共に、「すぐやるぜ。」「くれなかったんだぜ。」などの児童の心をくすぐる言い回しも多く、**児童にとって親しみやすい素直な表現となっているので、子ども達の多様な考えを引き出すことができる。**さらに、登場人物に共感し、気持ちを想像しやすく、楽しんで何度も繰

り返し読むことができ、読みを深めることにつながる教材であると考える。

#### <指導について>

自分の思いをもって学習に臨むために、学習問題作りから丁寧に扱っていききたい。子どもたちは題名読みを行うことで、実際に手紙を書いた経験やもらった経験を思い出すであろう。その経験をお互いに話す中で、もらったときのうれしさや書いたときのわくわく感も共感できるのではないかと考える。

全文を範読し、挿絵を使いながら場面や登場人物などを確認していく。その際に、最初と最後の挿絵の違いに気が付く子どもは、多いだろう。2枚の挿絵を比較することで物語の内容や二人の関係性を考えるきっかけとなっていくのではないかと考える。十分に物語を味わった後に、初発の感想をもつようにしていきたい。今回も感想に「不思議に思ったこと」「いいなと思ったこと」「よかったこと」「すごいなと思ったこと」「えらいなと思ったこと」「おどろいたこと」などを視点として感想を書いていく。

交流する中で、「どうして、かたつむりくんに配達を頼んだのか。」「かたつむりくんでは、時間がかかりすぎる」という感想をもつ子どもは多くいるであろう。その感想をもとに、他の生き物と比べたり、がまくんの気持ちの変化を読み取ったりしながら、時間がかかるかたつむりくんだからこその「よさ」に気付かせるようにしたい。そして、かたつむりくんが配達役であることの意味を捉え、この作品のおもしろさに気付くようにしていきたい。

本時、子どもたちが解決したい問題となるのが、「どうして、かえるくんは、お手紙を書いたことを言ってしまったのだろう？」である。かえるくんは、言うつもりがなかったのに、言ってしまった、という認識を子どもたちは、もっているのではないか。前時までの学習でかえるくんの行動を読み取り話し合う中で、子どもたちは、かえるくんの「やさしさ」に気付くはずである。がまくんとかえるくんのやりとりを確認し、二人の関係性を読み取っていけるようにしていきたい。

そして、今回根拠を示しながら、自分の考えを表現したり、友だちの意見を受け止めて聴いたりすることで、かえるくんの気持ちに気付いていく姿をひびき合いの姿としていきたい。そのために、前時までの話し合いをふりかえることができるような掲示物や状況の動作化を取り入れ、イメージを共有化する機会を確保していく。一部の子の話し合いにならないように、内容を整理して板書する。大切な発言を書き留め、聞き返し、全体で確認する場面を作っていく。さらに、小集団での話し合いや、ワークシートを用いて、自分の考えをじっくり見直す時間を設けながら学習を進めていく。

単元構想 第2学年 国語科 読書をたのしもう「お手紙」

**単元目標** ○場面の様子やがまくん、かえるくんの心情を想像しながら読み、物語をたのしむことができる。  
○がまくんとかえるくんの他の絵本や物語に興味をもち、読むことができる。

事前の学習・・・「きつねのおきやくさま」で、叙述をもとに想像しながら読み取り、話し合いをした。その読み取りを活かし、音読発表会を行った。

「知らせたいことを手紙に書こう」手紙の書き方を学び、書きたい相手を決めて手紙を書いた。

題名読みをし、イメージが膨らみやすくする。

- ・手紙、もらったことあるよ！・もらうとうれしい。・みんなで書き方を勉強したよね

どうして、かえるくんまでかなしい気持ちになったんだろう？④⑤

がまくん	かえるくん
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手紙が来なくてかなしい</li> <li>・ともだちがいなくて思ってる？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手紙をもらったことがないの知らなかったことがかなしい。</li> <li>・ともだちなのに知らなかった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・とてもふしあわせな気持ち</li> <li>・「だって、ぼく、お手紙もらったことないんだもの。」</li> <li>・二人ともかなしい気分で</li> </ul>	

2人の悲しい気分の理由を考えながら読む。

・どっちがかなしいのか？ ・がまくんの方だと思う、だってじっとまってるんだよ。

・かえるくんも今まで知らなかったことを知ったからかなしいと思う。

・でも、どっちがじゃなくてどっちもかなしいんじゃない？ ・かなしいがうつっちゃったね。

<学習感想>

- ・かえるくんとがまくんは、本当に仲がいいんだと思った。・二人はいい関係だと思った。
- ・がまくんは、かえるくんのことをわすれていると思った。・やっぱりかえるくんは、やさしいな
- ・がまくんの気持ちをわかってあげられるかえるくんみたいなおともだちがいればいいな

どうして、かえるくんは、お手紙を書いたことを言ってしまったの？⑧⑨（本時）

がまくんの気持ちを考えて	ついうっかり・・・
<ul style="list-style-type: none"> <li>・がまくんにあきらめてほしくなかったからじゃないかな。</li> <li>・かなしんでいるのががまんできなかったからかな。</li> <li>・がまくんを元気にしたかったからだと思うな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ついうっかり言っちゃったんじゃないかな。</li> <li>・かたつむりくんがあまりにもおそかったからじゃない？だから、言っちゃったんだよ。</li> </ul>

がまくんを何とか励まそうとするかえるくんの心の動きを読み取っている【読む】

- ・かたつむりくんがあまりにも遅かったから、待てなかったんじゃない？
- ・もう少し早くかたつむりくんが届けてくれると思ったよね。
- ・自分と一緒に見たかったのに、がまくんがどんどんへこんじゃうから・・・
- ・でも、言ったことでがまくんは、もっと喜んでくれたね。
- ・言わなかったら、どうなってたんだろう。

<学習感想>

- ・最初は、がまくんがお手紙を待っていたのに、かえるくんになっておもしろい。
- ・がまくんの気持ちを考えて言ったと思う。
- ・かたつむりくん、がんばって！
- ・やっぱりかえるくんは、優しいな。
- ・がまくんが不思議に思うくらいかえるくんの行動がおもしろい。
- ・言っちゃったけど、がまくんは喜んでくれたし、二人で楽しく待てたからよかった。

がまくんとかえるくんを動作化し、気持ちを考えられるようにする。

文章や挿絵から手紙をまつ2人の気持ちを想像して読んでいる。【読む】

今までの掲示物を掲示し、二人の間にあったやりとりを確認しやすくしておく。

おへんじを書いたらどうかな？⑫

- ・かえるくんへ お手紙ありがとう。とってもうれしかったよ。
- ・かたをくんで座っているから、もっともっと仲良しになったね。
- ・これからも、親友でいてください。
- ・かたつむりくんに手紙を頼んだのには、驚いたけど、一緒に待つ時間も楽しかったよ

読み取ってきたことをもとに、がまくんの思いを手紙に書いている。【書く】

「お手紙」って、どんなお話だろう。①②③  
感想を書こう・感想を交流しよう

登場人物を確認し、誰のセリフかをおさえる。  
挿絵を見ながら、話の順番を確認し、場面を分ける。

- ・かえるくんは、お手紙をもらったことがありそうだ。
- ・読んだことがある。 ・続きの話を書きたい！

- ・かえるくんは、やさしい。・かえるくんの手紙を書いてあげたから
- ・どうして、かえるくんまでかなしくなったんだろう。
- ・どうして、かたつむりくんの手紙をたのんだんだろう？
- ・かえるくんが、手紙のないように話してしまったのがおもしろい。
- ・どうして、がまくんは、お手紙をもらったことがないの？
- ・手紙のないようにしているのに、とどくのまわっているのがあわせなのはどうしてだろう。

初発の感想を書くことができる。(関心)

どうして、かえるくんは、かたつむりくんの手紙をたのんだの？⑥⑦

・手紙がとどくところを見なかったから  
・がまくんがよるこんでいるところを見なかったからじゃないかな。  
・かたつむりくんは、ゆっくりだからじぶんよりあとからきてくれると思ったから  
・家からとび出しました・「まかせてくれよ」「すぐやるぜ」

・たまたま、知り合いのかたつむりくんに会ったからたのんだんだよ  
・自分でポストに入れるより、だれかにたのんだ方がいいから  
・知り合いのかたつむりくんに会いました

<学習感想>

- ・がまくんのためにもうスピードでお手紙を書いたのにかたつむりくんに頼むってやっぱりおもしろい。
- ・かたつむりくんもやるきまんまんでおもしろい。・かえるくんはもサプライズをしたから、わくわくしてたと思う。

動作化を取り入れ、かえるくんの様子を読み取り、かたつむりくんへ手紙を託したことのおもしろさに気付けるようにする。

手紙をまわっているとき、どんなことを話してたんだろう？⑩⑪

かえるくん	がまくん
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼく、いそいできみに手紙を書いたんだよ！</li> <li>・きみがお手紙をもらったことがないなんて、知らなかったよ。ごめんね。</li> <li>・早く来ないかな。</li> <li>・かたつむりくんにたのんだんだよ！もうすぐ来るよ！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくのために、かえるくんがお手紙を書いてくれたんだね。うれしいよ、ありがとう。</li> <li>・なんだか、わくわくするね。・早く来ないかな。</li> <li>・だれがとどけてくれるの？ え～っ！</li> </ul>

・二人ともしあわせな気持ちでそこにすわっていました。  
・長いことまわっていました。

<学習感想>

- ・早く届くといいな。 ・手紙は、「親愛」の印だと思った。
- ・がまくんは、「親愛」って言われたからすごくうれしかったと思う

ほかのかえるくん・がまくんシリーズも読んでみたいな。⑬

- ・かえるくんとがまくんって、他のお話もあるんだよ。
- ・知ってる！ ・他にも読んでみたい！


お話を書いてみたいな。⑭⑮

- ・しかけを入れるとおもしろいよね！ ・くりかえしも、入れてるといいかも
- ・二人が親友だってことを書きたいな

6. 本時について

(1) 本時目標 根拠を示しながら、自分の考えを表現したり、友だちの意見を受け止めて聴いたりすることで、がまくんを気遣うかえるくんの気持ちに気付くことができる。

(2) 本時展開

学 習 活 動	主な支援・留意点 ◆評価【観点】
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>がまくんのことを考えて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がまくんを元気にしたかったから</li> <li>がまくんにあきらめてほしくなかったから</li> <li>わざと言っちゃったんじゃないかな</li> </ul> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>がまくんに言われてあわてちゃったんじゃないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うっかり言っちゃったんだよ。</li> <li>かたつむりくんがおそかったから。</li> </ul> </div> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;"> <p>「かえるくん、どうしてきみずっとまどの外を見ているの」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>でも・・・ がまくんは、よろこんだ。 とつてもよろこんだ。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>学習の感想を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やっぱり、がまくんにあきらめてほしくないから、言っちゃったと思った。</li> <li>うっかり言っちゃたのかもしれないけれど、がまくんはよろこんだからかえるくんの気持ちが伝わってよかった。</li> </ul> </div> <div style="margin-top: 20px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どうして、かえるくんは、お手紙を書いたことを言ってしまったのだろう。</p> </div> <div style="margin-top: 20px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>うっかり</p> </div>	<p>○今日話し合うことについて確認することで学習意欲をもてるようにする。</p> <p>○役割読みをして、本文の内容を確認する。</p> <p>○全体で話し合う前に、近くの友達と意見交流することで、自分の考えに自信をもてるようにする。</p> <p>○意図的に指名し、発言がつながるようにする。</p> <p>○名前カードを用いて、誰の考えかを明確にする。</p> <p>○どちらも、がまくんは喜び、二人で手紙を待つ時間を楽しく迎えることができたことをおさえる。</p> <p>◆叙述をもとに読み取ったことを、話し合おうとしている。【関心・意欲・態度】</p> <p>◆がまくんを何とか励まそうとするかえるくんの心の動きを読み取っている。【読み】</p>